

工作機械工業 収益状況集計

(2024年度 第2四半期)

会員企業のうち2024年11月中旬迄に2024年度第2四半期決算を公表している専業比率30%以上の上場企業13社を集計。集計調査対象企業における専業比率は84.9%。なお、今期は前年度末と同社の13社で集計した。

1. 連結決算の概要

表1 連結決算の概要(13社)

(単位：百万円・%)

	24年度	24年度	24年度	前年同期比	23年度
	I期	II期	I～II期		I～II期
売上高	171,768	196,783	368,551	△7.9	400,160
売上総利益	51,589	60,855	112,444	△9.4	124,043
売上総利益率	30.0	30.9	30.5		31.0
営業利益	6,393	12,764	19,157	△43.7	34,055
営業利益率	3.7	6.5	5.2		8.5
経常利益	9,102	11,830	20,932	△45.8	38,624
経常利益率	5.3	6.0	5.7		9.7
当期利益	6,062	6,595	12,657	△52.4	26,586
当期利益率	3.5	3.4	3.4		6.6
総資産	1,212,993	1,205,276	1,205,276	+3.1	1,168,541
純資産	808,979	793,753	793,753	+4.4	760,035
自己資本比率	66.7	65.9	65.9		65.0
自己資本 当期純利益率 (ROE)	3.0	3.3	3.2		7.0

(注) 自己資本当期純利益率 (ROE) は年率換算値

表2 損益状況一覧(連結・I～II期計・前年同期比) (13社)

(単位:社)

	増加	減少	合計
売上高	4	9	13
売上総利益	6 (0)	7 (0)	13 (0)
営業利益	3 (1)	10 (2)	13 (3)
経常利益	3 (0)	10 (2)	13 (2)
当期利益	3 (0)	10 (2)	13 (2)

※()内の数字は、赤字企業数。赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」となる

2. 2024年度通期見通しの概要

表3 【第2四半期時点】連結業績予想の概要（13社）

（単位：百万円・％）

	2024年度通期見通し			2023年度実績
	第1四半期時点	第2四半期時点	前年度比	金額、比率
売上高	797,157	792,019	△3.0	816,841
営業利益	60,131	54,688	△16.4	65,421
営業利益率	7.5	6.9		8.0
経常利益	62,098	56,867	△20.2	71,246
経常利益率	7.8	7.2		8.7
当期利益	44,856	39,909	△18.8	49,146
当期利益率	5.6	5.0		6.0

表4 【第2四半期時点】連結業績予想の増減（売上高、経常利益）（13社）

通期 (対前年度比)	増収増益	4社 (増減なし)	増収減益	0社 (2社減)
		減収増益	1社 (増減なし)	減収減益

◎第1四半期時点からの修正理由

【売上高、経常利益とも上方修正 …4社】

○第2四半期（中間期）予想について DBC ファイバーレーザー切断機を始めとした中大型切断機の販売増加が寄与したことや諸経費の減少等により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに前回予想を上回る見込み。

○第2四半期（中間期）の利益について、為替レートが円安で推移したこと、販売価格を見直し、経費を抑制したことにより、予想と実績との差異が生じた。

○売上高は、期初の想定為替レートより円安傾向で進捗しており円安による押し上げ効果等により、前回予想を上回る見通し。利益面では、営業利益は、売上原価及び固定費の低減による効果が一部寄与するものの、主に工作機械の販売台数減少による工場収益性の低下を見込み、期初計画を据え置きも、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、第2四半期（中間期）は円安進行による為替差益の発生により計画を大きく上回る結果となったが、下期は一定程度の円高進行による為替差損が発生すると見込む。修正予想の前提となる下期の主な為替レートは、1ドル 145 円、1ユーロ 158 円を想定。

○第2四半期（中間期）は、主に欧州及びアジア地域向けの販売が想定を上回り堅調に推移したことから、売上高について期初計画を上回る見通し。売上高の増加に伴い、利益面も期初計画を上回る見通し。また、通期見通しは、第2四半期累計が期初計画を上回る業績となる見通しであることに加え、第3四半期以降も期初計画と同等の売上高が見込まれることから、通期についても期初計画を上回る見込み。

【売上高は上方修正、経常利益は下方修正 …1 社】

○第 2 四半期（中間期）の業績は、工作機械事業の中国市場を除く地域において低調な販売となったものの、全体に為替の円安の影響を受けたことに加え、中国市場において力強く回復が進んだことなどにより、売上は前回予想を上回った。一方、利益は、収益性の高い米国市場を中心に回復が遅れたことなどから営業利益は減少し、為替差益の計上により経常利益は前回予想並みとなったものの、未実現利益に係る税効果会計の影響による税負担の増加などから親会社株主に帰属する中間純利益は前回予想を大幅に下回った。また、通期の業績予想は、為替の円安の影響に加えて工作機械事業の中国向けの販売が好調に推移すると見込まれることから、売上は前回予想を上回る見通し。一方、利益は、米国市場での市況の回復の遅れなどにより前回予想を大幅に下回る見通し。見通しの前提となる第 3 四半期以降の為替レートは、米ドルは 135 円から 140 円に、ユーロは 150 円から 155 円に変更。

【売上高、経常利益とも下方修正 …4 社】

○売上高は、工作機械事業において北米地域や中国向け売上が想定より落ち込む見通しとなったため前回の計画を下回る見込み。利益について、部品加工事業は堅調に推移しているが、工作機械事業の売上高が想定を下回ったことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも前回の予想を下回る見込み。

○当初想定していた材料・部品費、外注加工費、人件費等が想定以上に高騰したことに加え、連結子会社である中国現地法人において、一部、予定していた売上が翌四半期以降にずれ込んだこともあり、当初計画していた収益を大幅に圧迫・低下させる見通しとなった。

○第 2 四半期（中間期）連結累計期間は、受注高が受注回復の遅れにより下回り、売上高は受注回復の遅れによって前回予想を下回る結果となった。また利益面も、コスト削減等による費用の圧縮や販売価格への転嫁に努めたが、減収の影響が大きく、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益はそれぞれ前回予想を下回る結果となった。通期は、第 2 四半期（中間期）の受注・売上状況、業績、及び今後の見通しと、受注、費用見込により業績予想の見直しを行った結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ前回予想を下回る見通しとした。

○中間連結会計期間における当社グループを取り巻く環境は、主力である工作機械事業にて、一部ユーザを中心に需要回復傾向が見え始めたものの、全般的には主要顧客である自動車関連向け需要の低迷が継続し、当初見通しを下回る状況で推移してきた。このような状況下、売上は、見込んでいた一部案件の未達等により業績予想を若干下回ったが、営業利益及び経常利益は、販売価格改定や材料費の抑制等による効果、高利益率案件の寄与及び販管費削減効果により、業績予想を上回った。また、通期では、工作機械需要において 2024 年末以降の本格回復が期待されている状況にあるが、足元における急激な需要改善が見込まれないため、売上高が前回発表の業績予想を下回る見込み。利益についても、中間連結会計期間の業績、下期売上高の減少が影響し、前回発表の業績予想を下回る見込み。

3. 工作機械事業セグメントの概要

表5 工作機械事業セグメントの概要 (13社)

(単位:百万円・%)

	24年度		23年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	312,971	△6.9	335,998
営業利益	19,368	△37.4	30,946
営業利益率	6.2		9.2
専業比率	84.9		84.0

表6 【参考】工作機械事業セグメントの概要 (22社)

(単位:百万円・%)

	24年度		23年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	412,796	△9.2	454,626
営業利益	23,968	△42.4	41,615
営業利益率	5.8		9.2
専業比率	28.8		32.7

※表5の対象企業13社に加え、セグメント情報を公表している
専業比率30%以下の会員企業9社を加えた22社で集計

【調査対象会員企業 (順不同)】

(専業比率30%以上の集計対象企業)

エンシュウ株式会社
 浜井産業株式会社
 豊和工業株式会社
 小池酸素工業株式会社
 株式会社牧野フライス製作所
 株式会社岡本工作機械製作所
 オークマ株式会社
 西部電機株式会社
 株式会社ソディック
 スター精密株式会社
 株式会社太陽工機
 高松機械工業株式会社
 株式会社和井田製作所

(専業比率30%以下の集計対象企業)

シチズンマシナリー株式会社 (シチズン時計株式会社)
 株式会社FUJI
 株式会社不二越
 黒田精工株式会社
 ミロク機械株式会社 (株式会社ミロク)
 株式会社三井ハイテック
 株式会社オーエム製作所 (ダイワボウホールディングス)
 株式会社桜井製作所
 芝浦機械株式会社